

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



高シールド

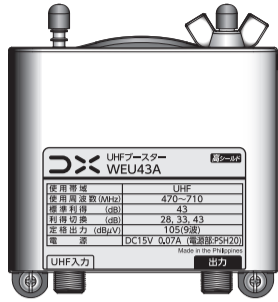
家庭用ブースター

前置ブースター用給電スイッチ付 DC15V電源重畳方式

UHF増幅モデル

UHF33dB/43dB共用形 **WEU43A**

増幅部(屋外/屋内用)



電源部(屋内用)



ケーブルテレビとFM放送には使用できません。



■ブースターの効果について(知っておいていただきたいこと)

このような場合に **効果があります**

- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場合
- テレビやデジタルレコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

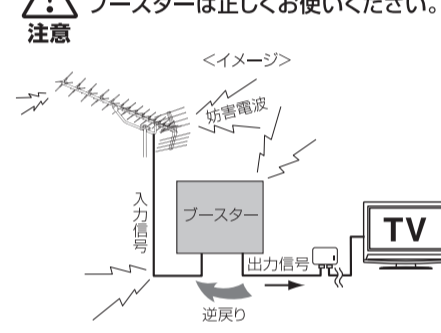
このような場合、ブースターを使用しても **効果がありません**

- 電波の受信品質が低い
- 視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けている
- ブースターを接続する前の方がよく映っていた
- 朝夕で映らないチャンネルがある など

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。

工事店にご相談ください

注意 ブースターは正しくお使いください。



ブースターは信号を増幅する機能上、正しく取り付けないと、自分の家や近所のテレビの映りが悪くなる場合があります。

- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実にこなす
- 入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースターに巻きつけない
- 配線には必ず同軸ケーブルを使う
- アンテナマストに取り付ける場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発振(妨害電波を発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなる場合があります。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

--	--	--	--	--	--

警告 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

テレビ受信工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

製品の上に乗らない
こわれたりけがの原因となります。特に小さなお子様のご家庭ではご注意ください。

以下の場所に設置しない
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- ・強度の弱い場所
- ・不安定な場所
- ・くらついたり振動したりする場所
- ・傾いた場所

ブースター電源部を以下の場所に設置しない
変形や火災、感電など事故の原因となり、製品寿命が短くなることがあります。

- ・直射日光の当たる場所
- ・放熱機能のないボックス内
- ・屋外・風呂場・洗い場・水がかかる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
- ・油煙や湯気があたる場所

電源コードを傷ついたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしない
また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づける)、引っ張ったりしない
火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

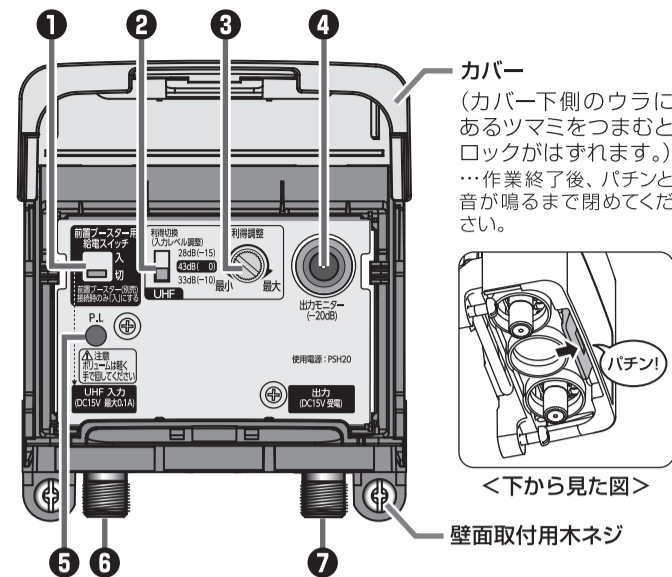
注意 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとラジオ音声にノイズが入る場合があります。

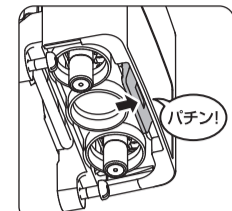
お手入れの際は、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わない
塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。

1 各部の名称と機能

■増幅部



カバー
(カバー下側のウラにあるツマミをつまむとロックがはずれます。) …作業終了後、パチンと音が鳴るまで閉めてください。

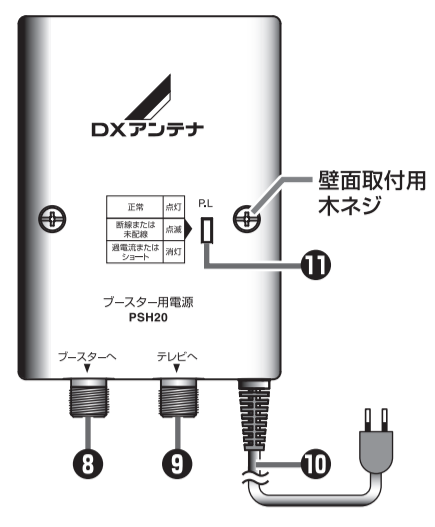


増幅部の説明

- 前置ブースター用給電スイッチ**
増幅部とUHFアンテナ間に前置ブースターを接続する場合に「入」にします。(電源供給が同軸重畳方式の前置ブースターの場合)
※ 出荷時: 切
- 利得切換(入力レベル調整)スイッチ**
アンテナからの信号レベルを下げる時に使用します。
※ 出荷時: UHF側 ……33dB(-10)
- 利得調整ボリューム**
各帯域において、利得を10dB連続で可変できます。
※ 出荷時: 利得最大
※ ボリュームは必ず手で回してください。(工具を使うと破損します。)
- 出力モニター端子(-20dB)**
レベルチェッカー等を用いて調整をする場合に使用します。
- P.L(パイロットランプ)**
電源を供給すると点灯します。
- UHF入力端子**
UHFアンテナに接続します。
①を「入」にするとUHF前置ブースターに電源を供給できます。
- 出力端子**
⑧と接続します。
増幅された信号が出力されます。

- 前置ブースターを接続しない場合は必ず①を「切」にしてください。「入」で使用すると、本製品が動作せず、故障の原因となります。
- ⑥の入力端子に別売のアッテネーター(減衰器)を接続する場合は、必ず通電仕様のもので使用してください。
- スイッチを切り換える際は切替操作を数回行ない、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。長期間操作をしないと接点部に酸化膜が発生し、接触不良の原因となります。

■電源部



電源部の説明

- ブースターへ**
⑦と接続します。増幅された信号が入力されます。同時に増幅部へ電源を供給します。
- テレビへ**
テレビと接続します。増幅された信号をテレビ側へ出力します。
- 電源コード**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むことにより、電源供給を行ないます。
※パイロットランプが点灯しない、異常に熱くなる等の異常がない限り電源コードは抜かないでください。テレビ放送が見られなくなります。
- P.L(パイロットランプ)**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むことにより、電源供給が行なわれます。同軸ケーブルがショートや断線していると、下記のように光でお知らせします。

【状態】	【お知らせ】	P.L
正常	点灯	
断線または未配線	点滅	
過電流またはショート	消灯	

※点滅・消灯のときはウラ面「⑩」を大きく映らないときは「⑩」をご覧ください。

2 取り付ける

取付可能な場所と取り付けかた	増幅部	電源部	壁面取付用木ネジ
垂直マストに取り付ける	屋内・屋外	屋内のみ	壁面取付、または据え置き

1 コの字形金具をはさず
金具がはずれにくい場合は蝶ナットを少し緩めてください。

2 コの字形金具を90°起こす

3 マスト押え金具の一方(右側)をはさず

4 本体とマスト押え金具でマストをはさむ
本体は入出力端子が下向きになるように取り付けください。

5 マスト押え金具をしっかりと引っ掛け、蝶ナットをしっかりと締め付ける
マスト押え金具を矢印の方向にスライドして、奥までしっかりと引っ掛けてください。
●隙間があると脱落や事故の原因になります。その後、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。(締付トルク: 1~1.5N・m)

水平マストに取り付ける

コ字形金具を付け換えると、水平マストにも取り付けできます。付け換え手順は下記をご覧ください。

1 コの字形金具をはさず

2 差し込む

3 回転させて起こす

4 固定する

ステンレスバンドで取り付ける
(φ49mmを超える垂直マストに取り付ける場合)

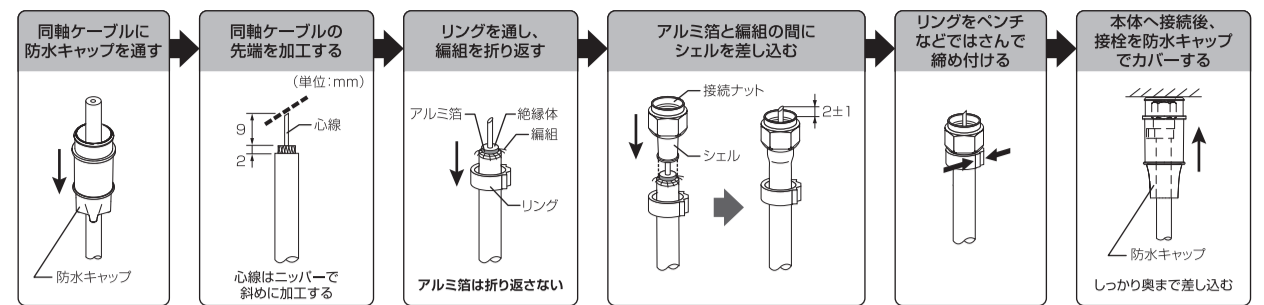
板壁へ取り付け

電源部 板壁へ取り付け

3 同軸ケーブルを準備する

F-5接栓(付属品)への同軸ケーブル接続方法(S-5C-FBケーブルの場合)

接栓締付トルク:2N・m



- ご注意**
- 同軸ケーブルの先端加工をする際は、心線、編組に傷をつけますと断線の原因となります。
 - 心線と編組は絶対に接触させないでください。故障の原因となります。
 - 心線に絶縁体の白い膜が付いている場合は接触不良の原因となりますので、必ずこすり落としてください。

ご参考

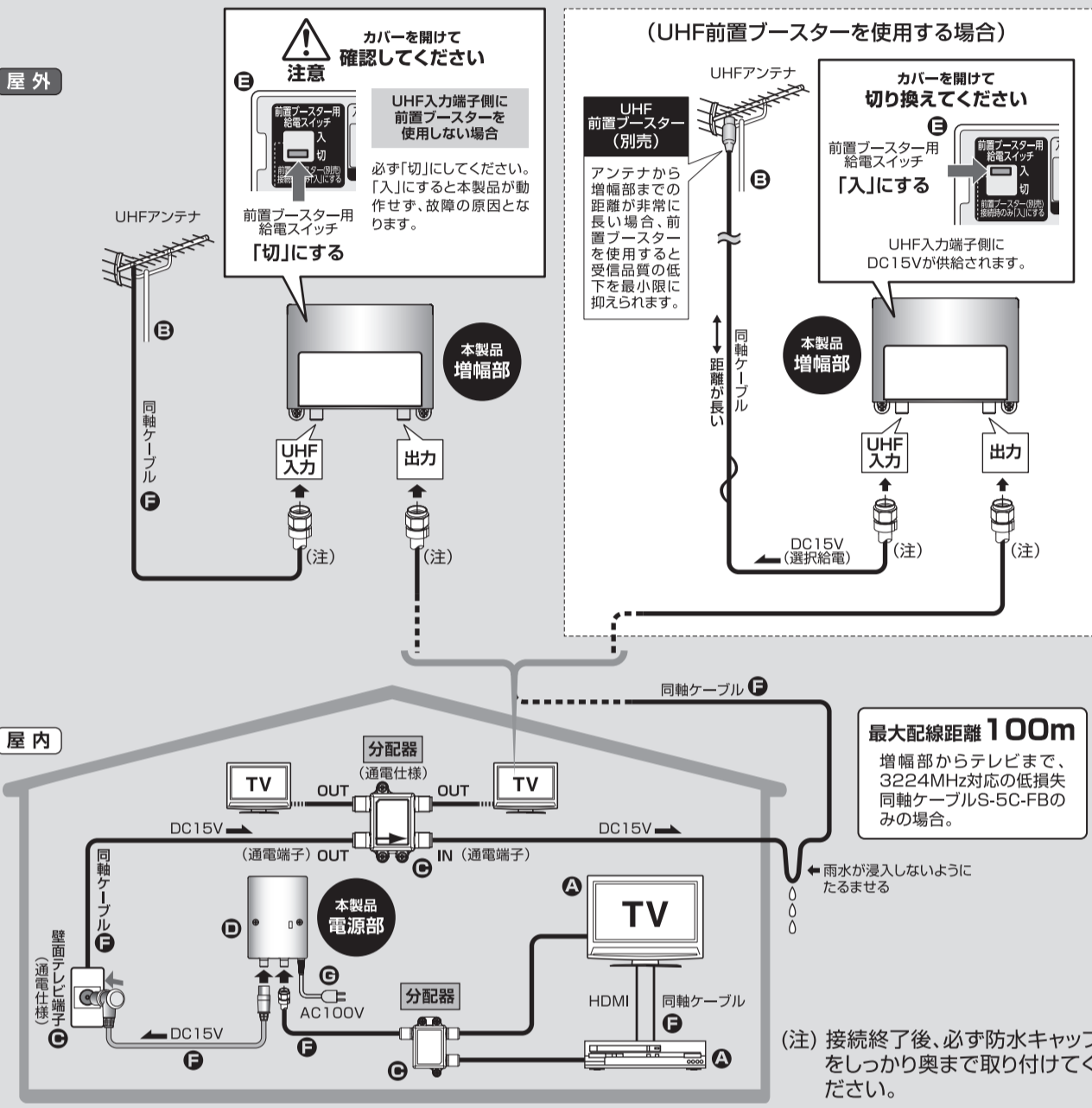
- 付属の防水キャップは接栓の加工後でも、接続ナットの対辺が12mm以下であれば取り付けが可能です。

ご注意: 接栓の加工後に防水キャップを通す際は、心線で手を突くなどしてけがをしないようご注意ください。(特に冬季などの低温時は防水キャップが硬くなり、通しにくい場合がございます)

4 接続例

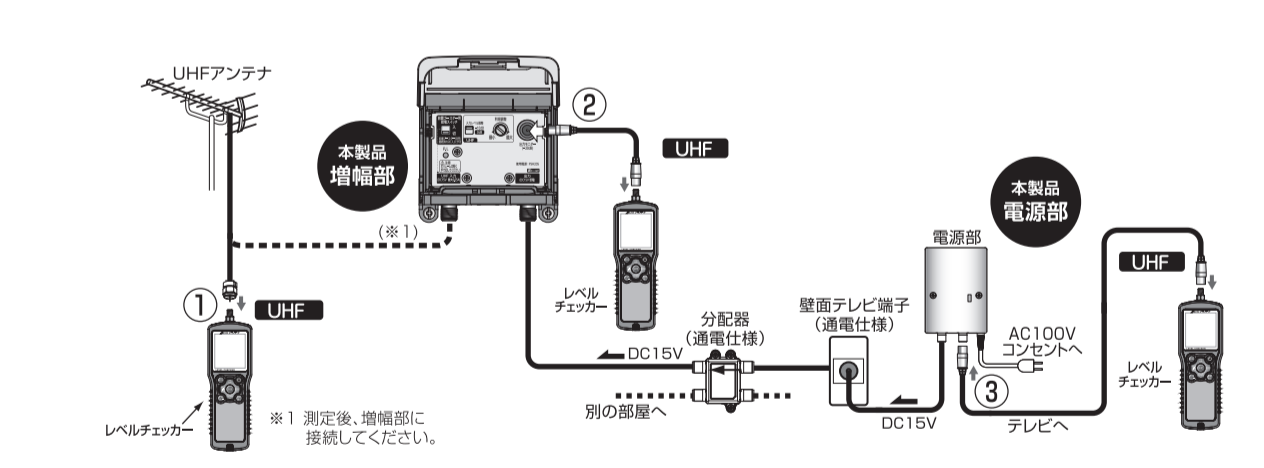
※図中のA~Kは、後述「うまく映らないときは」に対応しています。

増幅部と電源部間に接続する機器は、通電形を使用してください。



5 調整する

- 調整をはじめる前に**
- 出荷時設定を確認してください。
 - 利得切換(入力レベル調整)…UHF:33dB(-10) ●利得調整ボリューム…最大
 - 増幅部と電源部を同軸ケーブルで接続してください。次に、電源部の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み、増幅部と電源部のパイロットランプがともに点灯することを確認してください。
 - <パイロットランプが点滅している、または消灯している場合>



① 入力レベルの確認

プースターへの入力レベルをレベルチェッカーで確認し、受信可能なチャンネルの入力レベルに応じて「入力レベル調整スイッチ」を選択してください。

- 入力レベル範囲の下限(UHF:41dBμV)に満たない場合
アンテナの方向の再調整を行ってください。それでも改善しない場合は、前置プースターの追加、高利得/狭指向性アンテナへの変更の検討が必要です。
- 入力レベル範囲の上限(UHF:77dBμV)を超える場合
別売のアッテネーターを使用して調整してください。

帯域	入力レベル	利得切換スイッチ
UHF	41~62 dBμV	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)
	51~72 dBμV	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)
	56~77 dBμV	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)

入力レベルの測定値によって、複数のスイッチに当てはまる場合は、高い利得側を選択してください。

② 出力レベルの確認

出力モニター端子にレベルチェッカーを接続して定格出力レベル(出力モニター端子レベル+20dB)を超えないように利得調整ボリュームを調整してください。

帯域	定格出力レベル	利得調整ボリューム
UHF	105 dBμV	最小

③ 最終チェック

テレビ受信機(以下テレビ)への入力レベルをレベルチェッカーで確認し、右表(上段)の範囲であることを確認してください。最後にテレビで、受信可能なチャンネルの映像が正常に映ることを確認してください。

- レベルの上限を超える場合
利得調整ボリュームで調整してください。調整できない場合は、入力レベル調整スイッチを再調整してください。
- レベルの下限に満たない場合
ページ右上の「うまく映らないときは」のCを確認後、お買い上げの販売店、および工事店にご相談ください。

帯域	テレビ受信機入力レベル※2	利得調整ボリューム
UHF	47~81 dBμV	最小

※2 2017年5月31日時点

6 うまく映らないときは ここをチェックしてください

調整しても放送が映らない場合や、後日画面にノイズがでたり、映らなくなった場合は下記項目をチェックしてください。

ご参考

テレビの設定メニューなどで表示・確認できる「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値が、プースターを使用しても変わらない、あるいは下がる場合がありますが、これらの機能はアンテナの方向調整を目的にしたもので、電波の強さ(レベル)を示すものではありません。受信品質を向上させるためにはアンテナの高さや方向を再調整する、または高性能アンテナに変更する必要があります。

調整時

症状

映らない/ブロックノイズがでる

後日 映らなくなった

ここをチェック (左ページの4接続例とあわせてご覧ください)

対策・処置のしかた

以前から地上デジタル放送は映っていませんか? (A) → 受信品質が低いために以前から映っていなかったり、視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けても映るようになりません。

UHFアンテナの向きが、お客さまの視聴エリアの電波塔に向いていますか? (B) → 受信品質を改善するにはアンテナの方向や高さを変えたり、高性能アンテナに交換する等、お買い上げの販売店、または工事店にご相談ください。

各機器の端子へのケーブル接続は正しくつながっていますか? (C) → 各機器の端子の接続を確認し、間違っている場合は接続しなおしてください。

電源部のパイロットランプ(P.L)が点滅、または消灯していませんか? (D) → 点滅している…増幅部に電源が届いていません。電源部と増幅部の間に接続する分配器や壁面テレビ端子等は、通電形を使用し、必ず指定された通電端子にケーブルを接続してください。*電流を通過させる端子を持った機器。

前置プースター用給電スイッチが「入」になっていませんか? (E) → 消灯している…接栓の心線が曲がって接続されていたり、心線に編組(網)線が接触(ショート)しているのと映りません。接栓加工部分を確認し、接続しなおしてください。

前置プースターを使用していない場合は、必ず「切」にしてください。「入」にすると、アンテナがショートして故障の原因となります。

テレビのアンテナレベルがテレビの受信推奨レベル以上になっていませんか? (A) → ご使用のテレビの説明書の受信推奨レベルをご確認いただき、テレビの「初期設定」の「アンテナレベル」を画面で確認しながら、再度増幅部を調整してください。→調整のしかたは「5調整する」参照

テレビやレコーダーなどの機器を増設しましたか? (A) → 受信レベル不足の可能性がります。テレビやレコーダーの入力レベルを確認して再度増幅部を調整してください。また、別売の卓上プースターを使用すると改善する可能性があります。→調整のしかたは「5調整する」参照

同軸ケーブルが破損、断線していませんか? (F) → 各ケーブルを確認して、断線していたら交換してください。

電源部のプラグがAC100Vコンセントから抜けていませんか? (G) → 抜けている場合は、差し直してください。

テレビのアンテナレベルがテレビの受信推奨レベル以上になっていませんか? (A) → 最初に調整したときに、十分な受信レベルに調整できていなかった可能性があります。再度増幅部を調整してください。→調整のしかたは「5調整する」参照

仕様

型番	WEU43A
使用帯域	UHF
使用周波数(MHz)	470~710
入力レベル範囲(dBμV)	41~77(※1)
標準利得(dB)	43
定格出力(dBμV)	105(9波)
利得切換(入力レベル調整)(dB)	28,33,43(スイッチ切換)(※1)
利得調整範囲(dB)	0~-10以上(連続可変)
帯域内周波数特性(dB)	±2.5以内
雑音指数(dB)	1.5以下(※2)
入出力インピーダンス(Ω)	75(F形)
V S W R	3.0以下
直流供給電源	DC15V 0.1A
電源/消費電力(電源:PSH20使用時)	AC100V(50/60Hz)/2.0W, 3.9W(※3) DC15V/0.07A, 0.17A(※3)
使用温度範囲(℃)	-20~+50
外形寸法(mm)	84(H)×90(W)×47(D)
質量(kg)	0.22

電源部: PSH20

項目	性能
使用周波数(MHz)	10~2610
電源/定格消費電力(V/W)	AC100(50/60Hz)/1.0
重量電源(V/A)	DC15V/0.5
入力インピーダンス(Ω)	75(F形)
出力インピーダンス(Ω)	75(F形)
挿入損失(dB)	0~1.2(10~1000MHz) 0~2.0(1000~2610MHz)
使用温度範囲(℃)	-10~+40
外形寸法(mm)	97(H)×70(W)×35(D)
質量(kg)	0.2

高シールド 高シールドマークは、携帯電話や各種無線サービスなどの電波干渉を抑制するため、厳しい社内基準を基にシールド性を高めた製品であることを示します。

●この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

●電源部の規格は、電源部本体の裏面にも表示しています。仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

保証書

保証期間

製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(シート、納品書など)に記載されている購入日より1年間、本製品を本規定に従い無償修理をすることを保証いたします。※消耗品は除く

保証期間 1年間

無償修理

保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。弊社修理センターへご送付いただく場合は送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。

適用の除外

次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。

- ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- 火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争、暴動による故障および損傷、公害、損害、ガス害または、むすみや昆虫、鳥などの動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
- 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
- 用途以外(例えば車庫、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
- 製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(シート、納品書など)を提示、添付されていない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

保証書に関するお問い合わせ先

DXアンテナ株式会社

お買上年月日: 年 月 日

ご住所・ご店名: 販売店

電話: ()

カスタマーセンター

【土・日・祝日もご利用ください】

0570-033-083

受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)

一部IP電話では上記番号がご利用になれない場合: 05-3818-9016

※全国一律料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳細な手順を確認できます。

QRコードからアクセスしてください。

11003

©2106-01-00

⑧ 譲渡品、転売品または中古品として本製品をご購入された場合、(リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む)

⑨ その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

●免責

●本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。

●本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

●その他

●保証書の再発行は行いません。

●修理で交換された故障部品および故障部品の所有権は、弊社へ帰属とさせていただきます。

●製品修理にかかる付帯費用(運賃、設置工事費、人件費)については、弊社は一切の費用負担を行いません。

●有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。

●同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と、交換させて頂く場合があります。

●有効範囲

●本保証規定に基づく保証は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)